

平成28年11月

各都道府県 教育委員会 教育長 様  
各区市町村 教育委員会 教育長 様  
各都道府県社会科教育研究会会長 様  
各都道府県小学校長 様  
関係の皆様

全国小学校社会科研究協議会 会長 月岡 正明  
第41回 四国社会科教育研究大会  
平成28年度全国小学校社会科研究協議会研究大会  
香川大会実行委員長 森 正彦

平成28年度 全国小学校社会科研究協議会研究大会  
第41回 四国社会科教育研究大会  
平成28年度 香川県小学校教育研究会社会科部会研究発表会

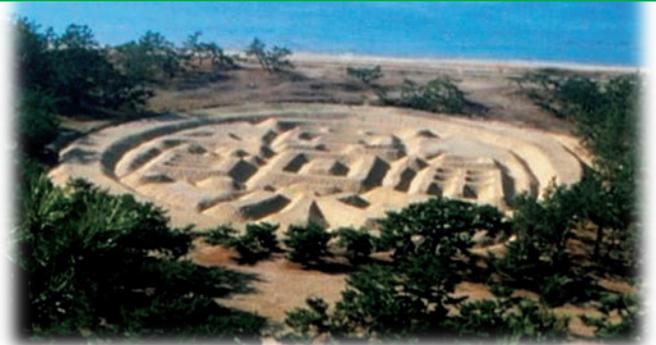


# 香川大会のご案内



大会主題

「どのように学ぶか」の資質・能力を育て、社会科の魅力を創る教育



「未来の社会科教育を  
どう考えていけばよいか。」  
新しい時代を築く  
学習指導要領の告示の香川大会。  
皆さまと一緒に香川の地で  
新しい時代の社会科教育を  
考えていきたいものです。  
皆さまのご参加  
心よりお待ちしております。

第1日目

平成29年 2月 9日(木)  
13:00 ~ 16:45

◆全体会場

サンポートホール高松

第2日目

平成29年 2月10日(金)  
9:30 ~ 16:25

◆第1会場

高松市立十河小学校

◆第2会場

観音寺市立観音寺小学校

大会参加費

4,500円(資料代含む)

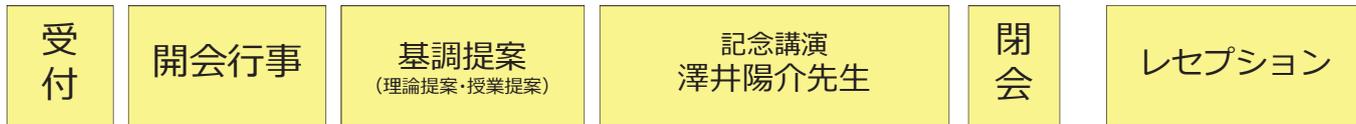
後援(予定)

文部科学省 香川県教育委員会  
愛媛県教育委員会 高知県教育委員会  
徳島県教育委員会 高松市教育委員会  
観音寺市教育委員会 全国連合小学校長会  
香川県小学校長会 高松市小学校長会  
観音寺市小学校長会  
香川県小学校社会科教育研究会

主催

全国小学校社会科研究協議会  
四国社会科教育協議会  
香川県小学校教育研究会  
香川県小学校教育研究会社会科部会

12:30 13:00 13:45 15:10 16:40 16:45 18:00 20:00



**おもてなし**

参加者や香川県を元気にする子ども達各種団体からの、特産品等のおもてなしや紹介があります。

**基調提案**

- 理論提案  
香川県小学校社会科教育研究会  
研究部長 河田 祥司
- 授業提案 (6年単元「今も残る国風文化と室町文化」)  
授業者 高松市立亀阜小学校  
教諭 小松 裕貴  
協力者 香川大学教育学部附属高松小学校  
教諭 轟 秀明

香川県の研究について、研究部長の理論提案に加え、授業提案により、授業で育てる「資質・能力」を学校の教育目標とつなぎ、「社会に開かれた教育課程」にせまっていきます。

**最新情報**

《演題》  
「新学習指導要領から見える社会科の未来」(仮)の中で、どこよりも早い、新学習指導要領の解説があります。

### 3つのポイント

学校、行政、地域が協働するおもてなし

子どもの姿で香川県提案

新指導要領をどこよりも早く解説

#### ◆主張◆



予測困難な時代を迎え、社会科の魅力の一つである「何を学ぶか」を大切にしつつ、見えない時代をどう捉え、どう学び、どう切り拓いていくかという「どのように学ぶか」の資質・能力を育てることを目指します。これまで本県では、問いをもち、解決の見通しをもって計画を立て、情報を集め振り返りながらメタ認知するなど、自己調整する資質・能力、様々な情報を再構成し、判断、表現していく資質・能力等、「自己調整」と「再構成」を往還しながら問題を解決していくことを重視した社会科教育を求めてきました。

どのような時代になろうとも、自己調整と再構成を繰り返し、様々な人との結びつきの中で、最適解や納得解を生み出し、社会を切り拓いていける子どもを育てたいと願っています。新たな時代の魅力ある社会科教育の創出に向けて、多くの人と考えていける貴重な機会にしたいものです。

#### ◆地方創生・香川◆



「四国は日本の縮図」と言われるように、人口減少、少子高齢化の急速な進行に加え、都市化を背景に人と人とのつながりが希薄化し、地域社会の連帯感や規範意識の低下、地域社会を支える人材の減少などにより、地域活力が低下しようとしています。このような問題を食い止め、地域の活力を維持することも大切ですが、これからの未来を見据え、学校や地域、各種機関がつながりながら新たな「ひと・もの・こと」を生み出していくことこそ、新たな時代を切り拓くことにつながります。

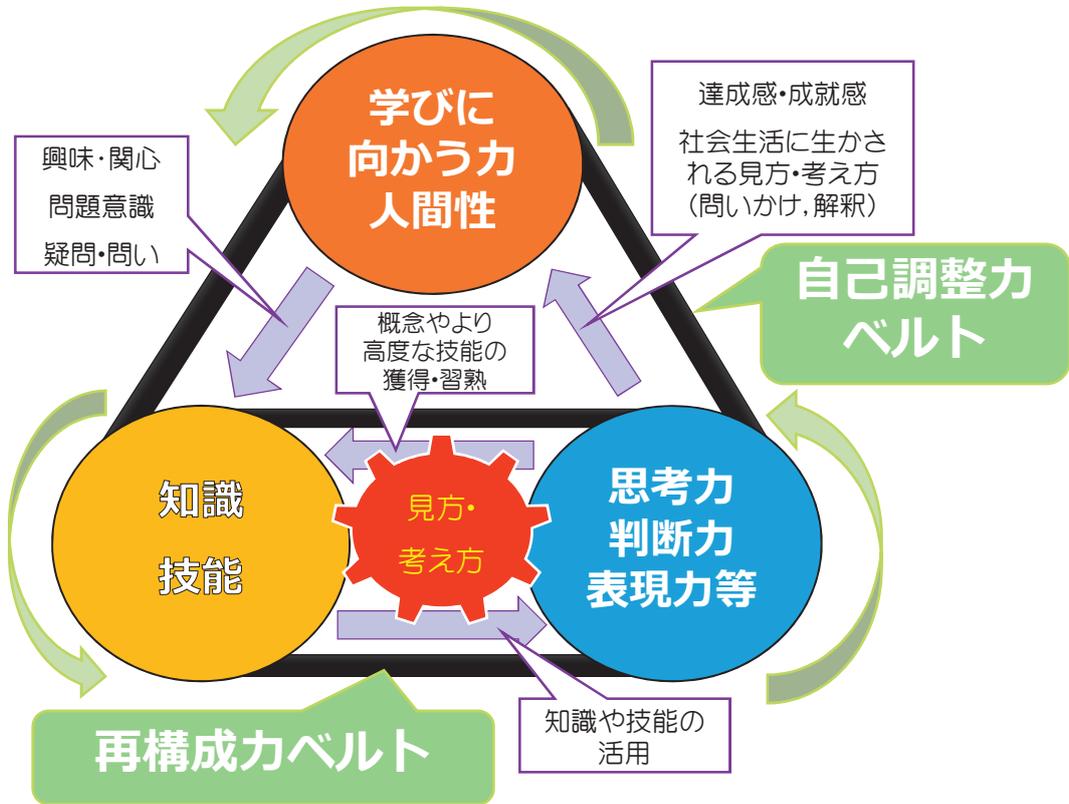
香川県大会では、小学校社会科に特化した一部の人の大会ではなく、学校や行政、地域の方々、各種団体等との結びつきの中で、新たな教育の形や社会科教育の在り方を模索していきます。

【研究主題】

## 「どのように学ぶか」の資質・能力を育て、社会科の魅力を創る教育

社会科の魅力を創るのは誰か。また、子どもはどのように学ぶのか。

3つの段階「問題を持ち、見通しをもつ」「調べ、考え、表現し、まとめる」「つなぐ」を通じて、自己を調整する力と再構成する力を育て、子どもとともに社会科の魅力を創っていきます。



グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な  
公民としての資質・能力の基礎の育成

